

海老名災害ボランティアネットワーク

第19回 定期総会



<http://www.edvn-saibora.net>

【 書面議決のための議案書 】

第1号議案	2019年度事業報告	2頁
第2号議案	2019年度収支決算報告 会計監査報告	4頁
第3号議案	2020年度役員選出(案)	5頁
第4号議案	2020年度事業計画(案)	6頁
第5号議案	2020年度予算(案)	7頁
資料	海老名災ボラの備品一覧表	8頁

(第1号議案)

2019年度 事業報告(1/2)

2019年度は、次に掲げる事業を行なった。(活動の詳細日程は次頁の付表を参照)

海老名市民が自然災害(地震・風水害・土砂災害など)に直面した時、その被害を最小限に抑える対応能力を身に着けるための活動を進めた。

- ①体験型講座「減災・災害対応訓練」を開催 (2019年6月)
家庭で出来る減災対策(自助)として家具転倒防止、水と食糧の日常備蓄・炊飯体験、水を使わない水洗トイレの使い方、災害時の明かり、通電火災防止などを市民向けに開催した。
- ②「災害図上訓練(DIG)地震編」の体験学習会を開催 (2019年9月)
自然災害(地震や風水害など)に対して自分が住んでいる地域がどのような弱さ(危険箇所など)と強さ(特色)を知り地域の減災力(自助+共助)の向上をめざす図上訓練を開催。
- ③自治会・各種団体主催の自主防災訓練への参加・協力 (2019年5・9・10・12月)
自治会主催の自主防災訓練や各種団体の主催する防災研修に出前講座などで参加・協力した。
- ④小学生への防災・減災訓練の実施 (2019年6~7月)
海老名の小学校での「えびなっ子スクール」でシェイクアウト訓練を実施した。
海老名市社協が小学校で実施している「福祉教室」では、防災マップ作りを実施した。
- ⑤海老名市民への広報活動:「海老名災害ボランティアネットワークだより」の発行 (2019年5月、11月)
海老名市内の全自治会に配付し、自然災害への関心を高め、それに対する対策の実践をPRしている。
(年2回、海老名市内の全自治会で回覧)、ホームページによる情報提供

2. 「海老名市災害救援ボランティアセンター」の設営・運営に関わる活動

大規模な自然災害が発生し、海老名市または周辺地域が大きな被害を被った場合に海老名市長からの要請を受けて海老名市社会福祉協議会が中軸となって「海老名市災害救援センター」が設置されることになっている。その時に備え次の活動を行なった。

- ①災害救援ボランティアセンターのスタッフ養成(コーディネーター養成講座) (2020年2月)
海老名市で災害救援ボランティアセンターが設置された時に、センターのスタッフとして働ける人材(コーディネーター)を養成する講座を海老名市社協との共催で開催した(年1回)
- ②神奈川県や他市が主催する防災訓練などへの参加・協力 (2019年8月)
2019年に実施された「ビッグレスキューかながわ」令和元年度神奈川県・伊勢原市合同防災訓練に参加した。
- ③海老名市危機管理課・海老名市社会福祉協議会との定期的な情報交換・相互協力
海老名市で防災・減災に係る3者(海老名市危機管理課、海老名市社協、海老名災ボラ)が月に1回顔を合わせ、情報交換と相互協力を進めた。

3. 大規模災害が発生した場合、被災地・被災者支援のボランティア活動へ参加

海老名災ボラは、阪神淡路大震災(1995年)の後、2001年12月に結成された。

それ以降、全国各地で大規模な自然災害が起きた時には、神奈川災害ボランティアネットワークと協力して被災地・被災者支援活動に参加している。東日本大震災(2011年3月11日)では、海老名市社協や神奈川災ボラと協力してボランティアバスを出した。

- ①2019年9月に発災した台風15号・10月に発災した台風19号による被災地支援活動に参加した
神奈川災ボラのボランティアバスで台風15号の被災地・千葉県富津市において支援活動 (2019年9~10月)
海老名災ボラ単独で台風15号の被災地・相模原市緑区において支援活動 (2019年10月)
神奈川災ボラのボランティアバスで台風15号の被災地・相模原市緑区において支援活動 (2019年11月)
神奈川災ボラのボランティアバスで台風19号の被災地・宮城県丸森町において支援活動 (2020年1月)

4. その他の活動

- ①海老名市ボランティア連絡協議会に加盟し、ふれあい交流会やボランティアフェスタに参加した。
- ②イオン海老名店で幸せの黄色いレシートキャンペーンに参加し災ボラの活動をPRした

(第1号議案)付表

令和元年度 事業報告(2/2)

期間:平成31年4月1日～令和2年3月31日

月	日	曜日	内容	会場	参加者
4	1	月	会計監査	市総合福祉会館	7
	13	土	第18回定期総会	市総合福祉会館2F第1・第2会議室1 委任状24	21
	21	日	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式	イオン海老名店	2
5	10	金	海老名市ボランティア連絡協議会(通称・ボラ連)定期総会	市総合福祉会館2F第1・第2会議室 20名	2
	11	土	かながわ・よこはま防災キャザリング	沢渡中央公園・横浜市民防災センター	2
	22	水	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	2
	31	金	ネットワークだより34号発刊	市内自治会回覧	
6	11	火	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	3
	11	火	神奈川災害ボランティアネットワーク総会	かながわ県民サポートセンター	1
	14	金	社協福祉教室「防災マップづくり」上今泉小学校	上今泉小学校体育館 6年生108名参加	4
	21	金	ボラ連研修会	高座クリーンセンター環境プラザ 14名参加	2
	29	土	体験型講座:減災・災害対応訓練	市総合福祉会館第1～3娯楽室 14名参加	7
7	11	木	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	3
	11	木	神名川災ボラ「防災訓練委員会」	かながわ県民サポートセンター	1
	23	火	有鹿小学校「えびなっこスクール シェイクアウト訓練 応用編」	有鹿小学校教室 3年生20名 4年生20名参加	2
	24	水	東柏ケ谷小学校「えびなっこスクール シェイクアウト訓練 応用編」	東柏ケ谷小学校教室 1～3年生 36名参加	2
8	8	木	DITS(Disaster Information Tweeting System) 災害情報発信とネットワーク化の講演会	かながわ県民サポートセンター	1
	20	火	2019年神名川シェイクアウト学習会	かながわ県民サポートセンター	1
	31	土	ビッグレスキューかながわ2019 県・伊勢原市合同防災訓練に参加	伊勢原市総合運動公園	7
9	7	土	サンパルク650フェスティバルで防災・減災の展示	サンパルク650集会所及び駐車場	3
	11	火	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	3
	21	土	～23・29神名川災ボラ台風15号被害の千葉県富津市へボランティアバス参加	千葉県富津市の海岸・山間部の高齢者宅	3
	28	土	「防災マップづくり」体験講習会	市総合福祉会館2F第1～2会議室 市民9名参加	10
10	5	土	台風15号被害の千葉県富津市へボランティアバス参加	千葉県富津市	3
	6	日	第7回えびなボランティアフェスタ2019に参加	市総合福祉会館2F災ボラブース395名来場	9
	7	月	東柏ケ谷5丁目ルアンジュマンション「ポリ袋炊飯」出前講座	ルアンジュ集会所 30名参加	1
	11	木	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	3
	21	月	台風15号被害・相模原市緑区の被災地支援活動(災ボラのみ)	相模原市緑区の高齢者宅	5
27	日	台風15号被害・相模原市緑区の被災地支援活動(災ボラのみ)	相模原市緑区の高齢者宅	4	
11	1	金	神奈川災ボラ学習会「水害にあった時に」	かながわ県民サポートセンター	2
	3	日	～10・16・17神名川災ボラ台風15号被害の相模原市緑区ボラバス参加	相模原市緑区	1
	11	月	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	5
	14	木	台風19号被害・被災地支援活動の情報交換会	かながわ県民サポートセンター 80名参加	3
	15	金	ネットワークだより35号発刊	市内自治会回覧	
	16	土	神名川災ボラ台風15号被害の相模原市緑区へボランティアバス参加	相模原市緑区	1
	17	日	神名川災ボラ台風15号被害の相模原市緑区へボランティアバス参加	相模原市緑区	1
	24	日	第10回海老名ふれあい農業まつり 防災減災PR活動	JAさがみグリーンセンター	6
30	土	サンパルク650自治会自主防災訓練に協力	サンパルク650管理棟の内外 40名参加	4	
12	1	土	海老名市社協主催年末助け合い共同募金	海老名駅東口ペDESTリアンデッキ	2
	1	土	上今泉コミセン祭り 防災・減災のPR活動	上今泉コミセン多目的室 1,200名参加	6
	8	日	市社協・ボラ連・障がい者団体共催「ふれあい交流会」	レンプラントホテル 123名参加	2
	11	水	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	4
	11	水	ピナレッジ 社協、NPO法人アドバイザーネット企画会議に参加	ピナレッジ会議室	2
1	7	火	神奈川災ボラ「ボランティアバス参加者向け講習会」の講師養成会議	かながわ県民サポートセンター	2
	10	金	～11神奈川災ボラ台風19号被害の宮城県丸森町へボランティアバス参加	宮城県丸森町	2
	11	土	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	3
	14	火	神奈川災ボラボランティアバス参加者事前研修会	かながわ県民サポートセンター	1
	17	金	～18神奈川災ボラ台風19号被害の宮城県丸森町へボランティアバス参加	宮城県丸森町	2
	18	土	海老名市防災講演会参加	市役所401会議室	8
31	金	～2/1神奈川災ボラ台風19号被害の宮城県丸森町へボランティアバス参加	宮城県丸森町	2	
2	9	上	災害救援ボランティアコーディネーター養成講座 62名参加	市総合福祉会館am元気クラブpm第1～3娯楽室	7
	11	火	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンPR活動	イオン海老名店	2
	15	土	福祉避難所訓練	市障害者支援センターあきば	3
3	2	月	ボラ連研修会「江戸しぐさに学ぶおつきあいの知恵」	新型コロナウイルス感染拡大の為中止	
	11	土	JAさがみ女性部研修会「水害対策・日常備蓄・トイレ対策」出前講座	〃	

海老名災ボラ、定例会11回:4/4 5/8 6/5 7/3 8/7 9/4 10/2 11/6 12/4 1/8 2/5 3/新型コロナウイルス感染拡大の為中止

市・社協・災ボラ定例会9回:4/26 5/30 7/9 9/4 10/10 12/10 1/8 2/13 3/26

ボランティア連絡協議会定例会9回:4/12 5/10 6/14 7/12 9/13 10/18 11/8 12/13 2/14 3/中止

神名川災害ボランティアネットワーク関係:理事会、4/23 5/28 運営委:5/7 9/24 10/29

(第2号議案)

2019年度 海老名災害ボランティアネットワーク収支決算報告

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

【一般会計】

(収入の部)

(単位：円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	増減額 (B-A:△減)	備考
1 会費収入	85,000	99,000	14,000	
(個人会員)	56,000	58,000	2,000	2,000×29口 (29名)
(賛助会員)	20,000	32,000	12,000	1,000×32口 (19名)
(団体会員)	9,000	9,000	0	(3団体)
2 事業収入	20,000	13,000	△7,000	各種講師謝礼金
3 寄付収入	27,000	31,973	4,973	イオン「ギフトキャンペーン」、ダイエー他
4 助成金	70,000	70,000		海老名市社会福祉協議会より
5 雑収入	4,000	2	△3,998	受取利子
6 前年度繰越金	225,545	225,545	0	
合計	431,545	439,520	7,975	

(支出の部)

科目	予算額(A)		決算額(B)		増減額 (B-A△減)	備考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 事業費	150,000		39,375		△110,625	各種講座材料費
2 通信費		15,000		4,838	△10,162	郵送代
3 事務費		60,000		35,608	△24,392	封筒、コピー用紙、インク、他事務用品他
4 会議費		10,000		0	△10,000	会場費
5 会費		20,000		20,000	0	県災ボラ、海老名社協会費
6 広報費	70,000		0	22,833	△47,167	ネットワークだより印刷代(年2回)
7 交通費		70,000		34,930	△35,070	市外研修会、各事業等参加
8 予備費		36,545		0	△36,545	
小計	220,000	211,545	39,375	118,209	△273,961	
合計		431,545		157,584	△273,961	

収入額 439,520 円 - 支出額 157,584 円 = 281,936 円 <2020年度繰越金>

【特別会計】

(収入の部)

科目	決算額	備考
1. 寄付収入	0	
2. 前年度繰越金	46,000	
合計	46,000	

(支出の部)

科目	決算額	備考
活動補助費	22,460	ボラバス、直行参加他
合計	22,460	

収入額 46,000 円 - 支出額 22,460 円 = 23,540 円 <次年度繰越金>

会計 松井 俊輔

会計 小澤 昌平

---会計監査報告---

代表 福田 博 殿

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の

海老名災害ボランティアネットワーク会計について、監査結果を下記の通り報告します。

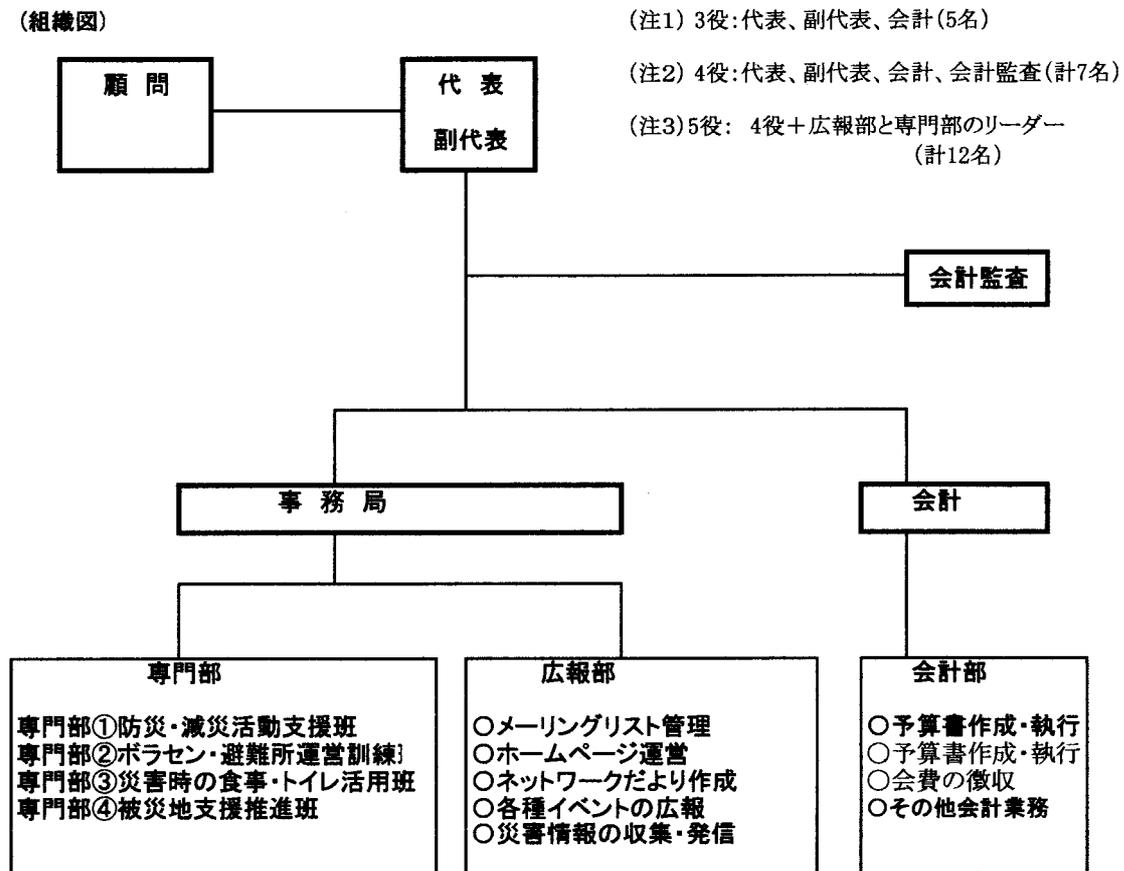
2020年 5 月 7 日 関係帳簿、領収書等の監査の結果相違ないことを認めます。

会計監査 野本みな子 

会計監査 永山 八郎 

代表	福田 博
副代表	水本 晶子 星野隆一郎
会計	松井 俊輔 小澤 昌平
事務局	広報部：野中義彦・舘登志子・鷲見一雄
	専門部①：中村敏一・山下康秀・黒田美保
	専門部②：佐々木茂・吉野達志
	専門部③：水本晶子・嶋原やわた・山本由美子
専門部④：石橋友晴・嶋原義弘・田村和寿	
会計監査	永山 八郎
	野本 みな子

(組織図)



※定例会：海老名災ボラの運営に関わる会議、毎月開催

※役員会：代表・副代表の会議、+会計の会議など、必要に応じて開催

※広報部・専門部について：メンバーは定例会等で変更可能で、会議は必要に応じて開催する。

専門部①防災・減災活動支援班：体験型講座、防災マップ作成講習などを実施する。

専門部②ボランティアセンター及び避難所運営訓練班：ボランティアセンター及び避難所運営訓練を促進する。

専門部③災害時の食事・トイレ活用班：災害時に備えて、水・食料の備蓄・災害食づくり、トイレの活用を推進

専門部④被災地支援推進班：被災地支援活動を活発化するため、会員内外へのPRと参加促進を図る。

(第4号議案)

2020年度 事業計画(案)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

1. 新型コロナウイルス感染症の流行が続いている中での災害ボランティア活動について

- ①国や県・市などから「外出自粛」が求められている状況(緊急事態宣言発令中)では、「人と人の接触」が多くなる活動(会議・講習会・被災者支援など)は自粛する。
- ②国や県・市などから「外出自粛」が緩和されている状況では、「3蜜」(密閉・密集・密接)を回避するなど、必要な感染防止対策を講じて、災ボラ活動(会議・講習会・被災者支援など)を進める。
- ③「人が直接的に接触しない形で出来る活動」(メーリングリスト、個別メール、FAX、電話など)を活用し、会員相互及び市民との情報共有・交換を積極的に推進し、災ボラ活動の持続的な展開を図る。

2. 市民の自然災害への対応能力(自助・共助)を高める活動を推進する

- ①「体験型減災・対応訓練」を開催し、市民の自助能力の向上を進める。
- ②「災害図上訓練(DIG)」(地震及び風水害)の体験学習会を開催する。
- ③自治会・各種団体主催の自主防災訓練に協力し、自助・共助の前進を図る。
- ④小学生の自然災害への関心と対応力の向上を進める。「福祉教室」、「サマースクール」への協力
- ⑤海老名市民への広報活動の充実を図る。「海老名災ボラだより」(6月1日、12月1日、回覧)
海老名災ボラのホームページを充実する。(より多くの市民に読まれる内容に努める)。

3. 被災地被災者支援のボランティア活動に参加・協力する

- ①大規模な自然災害が全国各地で起きた場合、神奈川災害ボランティアネットワークなどと協力し、被災地・被災者支援活動に参加する。
- ②被災地・被災者支援に関わる募金活動や救援物資の送付活動などに参加・協力する。

4. 海老名市災害救援ボランティアセンターの設置運営に参加・協力する

- ①「災害救援ボランティアセンター」の設置運営訓練に参加・協力する(海老名市社協に協力)。
- ②「コーディネーター養成講座」に参加・協力する(海老名市社協に協力)。
- ③神奈川県や海老名市が主催する防災訓練に参加・協力する(「ビックレスキューかながわ」など)。

5. 行政・社協や他団体と連携・協力して防災・減災活動を推進する

- ①海老名市や海老名市社協と連携・協力して防災・減災活動を進める。
- ②「海老名市ボランティア連絡協議会」の活動に参加・協力する。
- ③自治会(自主防災組織)や各種団体と連携・協力して防災・減災活動を進める。
- ④海老名市外の団体(神奈川県内や県央地域)と連携・協力して防災・減災活動を進める。

6. 海老名災ボラの会員相互の情報共有、スキルアップ、会員の拡大を進める

- ①災ボラ会員間の情報共有を進める。(定例会、メーリングリスト、ホームページなどの活用)
- ②様々な機会を利用して、災ボラ会員のスキルアップを図る。(防災講演会・体験型訓練へ参加)
- ③市民向けの体験型講座や各種事業に、災ボラ会員も参加し、市民と一緒にスキルアップを図る。
- ④被災地被災者支援活動に参加し、そこでの活動経験から学ぶ。
- ⑤「災害弱者」(高齢者・障害者・外国人、幼児など)との交流を促進する。
- ⑥海老名災ボラの様々な事業を根子に、災ボラ会員の拡大を図る。

(第5号議案)

2020年度 海老名災害ボランティアネットワーク予算(案)

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(収入の部)

(単位：円)

科 目	R2年度予算(A)		前年度予算(B)		増減額 (A-B△減)	備 考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 会費収入	74,000		85,000		△ 11,000	
(個人会員)	50,000		56,000		△ 6,000	2,000× 25 口 (25人)
(賛助会員)	15,000		20,000		△ 5,000	1,000× 15 口 (15人)
(団体会員)	9,000		9,000		0	3,000× 3 口 (3団体)
2 事業収入	10,000		20,000		△ 10,000	福祉教室他
3 寄付収入	15,000		27,000		△ 12,000	イオン 「ギフト
4 助成金	70,000		70,000		0	
(海老名市社協より)	70,000		70,000		0	
5 雑収入	2		4,000		△ 3,998	受取利子
6 前年度繰越金	281,936		225,545		56,391	
合 計	450,938		431,545		19,393	

(支出の部)

科 目	R2年度予算(A)		前年度予算(B)		増減額 (A-B△減)	備 考
	事業費	事務費	事業費	事務費		
1 事業費	80,000		150,000		△ 70,000	各種講座材料費、マニュアル整備
2 通信費		5,000		15,000	△ 10,000	はがき、切手
3 事務費		35,000		60,000	△ 25,000	コピー代、他事務用品
4 会議費		5,000		10,000	△ 5,000	会場費
5 会 費		20,000		20,000	0	県災ボラ、海老名社協、他
6 広報費	25,000		70,000		△ 45,000	ホームページ、ネットワークだより印刷代
7 交通費		35,000		70,000	△ 35,000	市外研修会、各事業等参加
8 予備費		76,936		-169,455	246,391	
小 計	105,000	176,936	220,000	5,545	56,391	
合 計	281,936		225,545		56,391	

災害救援活動費繰越金 23,540円

資料 海老名災害ボランティアネットワーク備品一覧表

No	品名	数量	単位	保管場所	
1	特定小電カトランシーバー	7	台	文化会館備蓄倉庫	EDVN購入
2	ポリバケツ	4	台	"	EDVN購入
3	ブルーシート	5	個	"	"
4	寝袋	80	枚	"	海老名市より
5	白ビニールゼッケン	20	個	"	海老名市より
6	白ビニール腕章	18	着	"	海老名市より
7	メッシュオレンジゼッケン	75	枚	"	海老名市より
8	メッシュオレンジゼッケン	10	着	"	EDVN購入
9	のぼり旗	5	着	"	EDVN購入
10	プラスチックボックス	2	本	"	震災事業より
11	延長コードリール	1	個	"	"
12	延長コード	3	個	"	"
13	アスバックシート	62	個	"	海老名市より
14	折りたたみリヤカー	1	基	"	H20年度海老名市より
15	三方幕(2間×3間)	2	枚	"	H20年度海老名市より
16	ハンドマイク(軽量&防水)	2	基	"	H20年度海老名市より
17	災害時車用マグネットシート	9	式	"	H20年度海老名市より
18	テント(3mx6m)	2	基	"	H21・22年度海老名市より
19	同上四方幕	2	枚	"	H21・22年度海老名市より
20	特定小電カトランシーバー	4	式	"	寄贈(H23)
21	ヘルメット	17	式	"	H23年度海老名市より
22	プラスチックボックス(ハルックコンテナBL-2)	16	個	"	EDVN購入(H22・23・25)
23	発電機	1	台	"	H24年度海老名市より
24	バルーン投光器付発電機	1	台	"	H25年度海老名市より
25	穴開けパンチ	4	台	"	EDVN購入
26	カセットボンベ式卓上コンロ	2	台	"	EDVN購入
27					
28					
29					
30					
31					
32					
33					
34					
35					
36					
37					
38					
39					
40					